

水産物消費拡大の取組について

2026年3月

経済産業省 福島復興推進グループ

ALPS処理水の海洋放出とタンク解体の状況

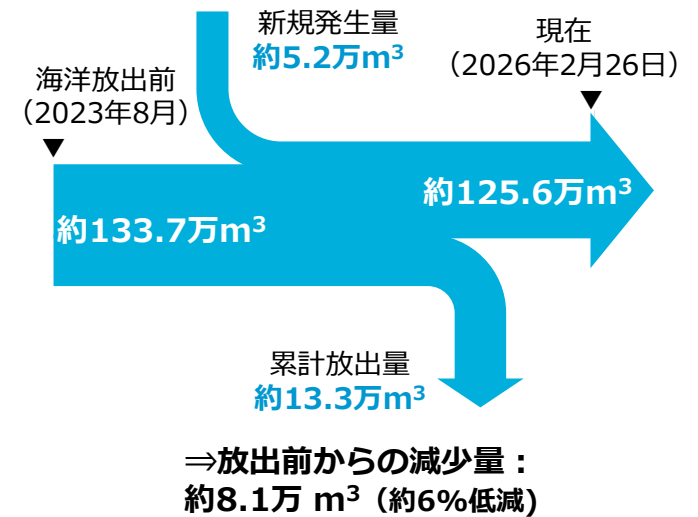
- ALPS処理水については、トリチウム濃度を規制基準の40分の1、WHOが定める飲料水基準の約7分の1である運用基準1500ベクレル／リットル未満になるよう希釈して海洋放出する。
- 2025年度は約54,600m³（トリチウム総量約15兆ベクレル）のALPS処理水を7回に分けて放出予定。
2026年3月6日に2025年度7回目（通算18回目）の放出を開始。
- これまでのモニタリング結果やIAEAによる評価からALPS処理水の海洋放出が安全であることが確認されている。
- ALPS処理水等*の貯蔵量は、海洋放出前から約6%低減。 2025年2月14日、ALPS処理水の放出に伴い使用しなくなった**タンクの解体作業に着手**。2026年2月時点で**14基解体済**。空けた区画には、**燃料デブリ取出し作業の関連施設等の設置を予定**。

1. 2025年度ALPS処理水放出実績

	放出開始時期（終了日）	水量	トリチウム濃度（希釈前）	トリチウム総量
①	2025年 4月10日（～4月28日）	7,853m ³	37万 Bq/L	約2.9兆 Bq
②	7月14日（～8月3日）	7,873m ³	25万 Bq/L	約2.0兆 Bq
③	8月7日（～8月25日）	7,908m ³	38万 Bq/L	約3.0兆 Bq
④	9月11日（～9月29日）	7,872m ³	21万 Bq/L	約1.7兆 Bq
⑤	10月30日（～11月17日）	7,838m ³	25万 Bq/L	約2.0兆 Bq
⑥	12月4日（～12月22日）	7,833m ³	31万 Bq/L	約2.4兆 Bq
点検（測定・確認用設備 C群タンクの本格点検含む）				
⑦	2026年 3月6日（～3月24日） （予定）	約7,800m ³	25万 Bq/L	約2.0兆 Bq

※Bq＝ベクレル

2. ALPS処理水等*の貯蔵量の低減



*ALPS処理水等：ALPS処理水及び処理途上水
**各数値は四捨五入のため、合わない場合がある

3. 処理水の放出に伴うタンクの解体



(提供：東京電力ホールディングス)

国内消費拡大と販路拡大の推進の取組

- ALPS処理水の海洋放出に伴う一部の国・地域の輸入規制により影響を受けた水産物等への支援として、需要対策としての300億円基金等を用い、漁業者団体、民間事業者等に対し、学校給食等への水産物の提供や、水産物のEC販売等の販路拡大の取組に係る経費を支援。
- 全国各地の水産物の魅力発信を支援すべく、都市圏での水産見本市への出展支援、地域の魅力発信イベント開催の支援等を実施。引き続き、令和7年度補正予算事業でも実施予定。

◆国内販路拡大等支援事業 (300億円基金ほか)

- ✓ 漁業者団体や民間事業者等に対し、
 - ✓ 学校給食・子ども食堂・社員食堂への食材提供を支援
 - ✓ ECサイト等において、水産物のインターネット販売を行う取組を支援
 - ✓ その他多様な販路拡大の取組を支援
- ✓ 以下のとおり、2026年3月16日時点で、67件の交付決定を実施。引き続き、申請受付中。
 - ✓ 学校給食型32件、社食型1件、EC型16件、創意工夫型18件



学校給食（ホタテ使用）
（出典：北海道森町HP）



ECサイト
（出展：食ベチョクHP）

◆全国各地の水産物魅力発信事業

○ジャパン・インターナショナル・シーフードショー (2025年8月20日～22日)

- ✓ 各都道府県の漁連・漁協などの漁業者団体の出展サポートを実施。
- ✓ 「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」でも、水産加工事業者の出展サポートを実施。



○地域の魅力発信イベント開催の支援

- ✓ 各都道府県の漁業者団体が行う、地域の水産物の魅力を発信することを目的に実施するイベント等を支援。本年は10団体を採択。



くろべ漁協 感謝祭



千葉県漁連
訪日外国人観光客を対象とした魅力発信イベント

三陸常磐ものの魅力発信の取組

- 1,300者を超える企業等が参加する「三陸・常磐もののネットワーク」や、2022年より実施している「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」による各種取組のもと、政府全体・官民が連携して「三陸・常磐もの」の消費拡大・販路拡大を実施していく。
- 2025年11月及び2026年2月の魚ジャパンフェスでは、小森経産大臣政務官が開会式で挨拶を行うとともに海鮮丼を試食して三陸・常磐の水産物の魅力を発信した。

◆三陸・常磐ウィークス（第5弾） （2025年11月1日～30日）



- ✓ 赤澤経産大臣を始め、政府全体で三陸・常磐ものを食べて応援



◆魚ジャパンフェス



- ✓ 小森政務官も三陸・常磐ものを食べて応援

◆ごひいき！三陸常磐キャンペーン in 豊洲場外マルシェ （2025年11月15日）



- ✓ 三陸常磐エリアの青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉の各県漁連・漁協と連携し、豊洲場外市場で販売イベントを実施。
- ✓ ステージイベントでは、山田経済産業副大臣が、キャンペーンアンバサダーのアルコ&ピースのお二人とともに、各県の三陸常磐ものの魅力をPR。



◆三陸常磐食べようフェア2026 （2026年2月末～）

- ✓ 「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」の一環として、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、イトーヨーカドー、デニーズ、魚屋路（ととやみち）、Oisixとの「三陸常磐食べようフェア2026」を開催。
- ✓ 三陸常磐ものを使用したオリジナル商品を各社で販売。

